



当社の研究開発のめざすもの

専務取締役
高橋 國展

当社は現中期計画において、

- ①お客様からの絶対的な信頼の獲得
- ②国際競争下で優位に立つ品質、コスト競争力の確立と安定的供給
- ③「人」を育て「人」を活かす

の三点を基本的な考え方として、

- 1. 「技術の山陽」として、業界トップレベルの技術力の向上
- 2. 国際競争力に耐える企業体質の実現
- 3. ハード・ソフト両面における事業構造の改革
- 4. 海外への事業展開
- 5. 地球環境保全への貢献

の実現に向けて着々と成果を上げつつあります。

この中において当社の研究開発の目指すものについて、現在の取り組みと所感の一端を述べてみたいと思います。

企業の継続的な発展成長には、新しいマーケットを創出する新製品の開発、品質、コスト競争力確保のための製造技術の開発、社会的要請、地球環境保全への技術的対応が必要不可欠で、この事はとりもなおさず製造業の発展は研究開発力なくしてはあり得ないことを示しています。

企業の研究開発はお客様あってのものでニーズにフィットする事は勿論、スピードと効率が求められることは言うまでもありません。

当社はこれまで軸受用鋼、自動車用鋼を中心とした量産高級特殊鋼において世界でもトップレベルの高清浄度鋼の製造技術開発に力を注ぎ、ベアリング等高機能部品の信頼性向上、寿命向上、塑性加工における冷間鍛造の普及、加工度向上によるお客様での生産性向上、歩留向上、コストダウン、自動車等の重要部品のローグレード化によるコストダウンやNi, Mo, Crなど希少金属の省資源化に多くの貢献を果たしてきたと自負いたしております。

現在もこの技術をコアとして更なる研究開発を進めており工具鋼やステンレス鋼耐熱鋼など高合金鋼、金属粉末による磁性材料、電磁材料の分野でもこの技術がお役にたてるものと確信いたしております。

特殊鋼にはその加工法や用途に応じて様々な機能が要求され、その要求は常に高度化し多様化しております。材料の特性のみならずその加工におけるニーズに迅速敏感に対応し、さらには積極的に提案する為の研究開発が当社の責務であると考えています。

一般的には基礎研究、応用研究、実用化研究の段階を経て新製品が開発されるわけですが、その過程で様々な実用上の課題を全て解決しなければなりません。途中で問題点が出れば直ちに前段階に戻ってのスピーディな対策が必要になります。

技術が高度化するに従っていくつかの分野が有機的に連携して新しい開発が行われなければなりません。当社独自の研究開発力を高めることは勿論、大学をはじめ外部の研究機関、お客様の研究開発部門、或いは同業の研究開発部門との共同研究が益々重要になってくると考えています。

研究開発技術者には触覚の多さ、感度の良さ、行動力、信念、思考力、探求心、判断力、説得力、協調性等が求められます。こうした技術者を育て活かす事が経営者、管理者の重要な務めであります。

製造業の国際化、空洞化の進む中当社が世界第一級の特種鋼メーカーとしてあり続ける第一の条件は研究開発にあると考え研鑽を続けていきたいと考えています。

皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。